

ひとあいえどがわ

江戸川総合人生大学発



人と地域をつなぐ情報紙

No.10

発行／江戸川総合人生大学
編集／「ひとあいえどがわ」
編集委員会
発行日／2009.05.15

第4回 大学祭・実行委員会始動！

8月8日の大学祭に向けて、実行委員26名で準備を進めてている実行委員会。実行委員長と部会長3名にお話を伺いました。



福薗　小山　川瀬　住谷
広報部会長　展示部会長　実行委員長　ステージ部会長

～大学祭とは～

学生が主体となり、日ごろの学びの成果や活動を発表し、江戸川総合人生大学を知って頂く大切な一大イベントです。

～“来てよかったです”と思える大学祭に～

多くの区民の皆さんに「大学祭の意義」などをご理解頂いたり、帰りには“来てよかったです”と思って頂ける大学祭にしたいですね。

そして、この大学祭が学生も区民も一緒になって、素晴らしい江戸川区にしていくという行動につながるきっかけになればという思いで準備していますと語る川瀬実行委員長。

象
參
ひ
れ
あ
い
地
域
の
和
書・山下弘子



ポスター選び

～展示部会～

去年の反省を踏まえ、学びの成果を十分発表できるスペースの配分を工夫し、卒業生の参加や“よってこスタジオ”（学びの成果を映像で紹介）、スタンプラリーは今年も行いたいと思います。

～広報部会～

サブテーマも決まり、間もなくポスターも学生から募った中から決定します。チラシ・プログラムも各部会と連携し逐次作成してまいります。広報活動は、メディアなど活用の他、学生一人一人が広報員として、区民の皆さんにキメ細かい案内を広め、“めざせ、来場者数2000人”を目標にいたします。

～ステージ部会～

昨年は、各学科とも趣向を凝らした出しど物が満載でしたが、今年はさらに明るく、楽しく、学んだ成果を発表できる場になれたらと思います。

取材
5期生・小杉、杉山
4期生・秋元、勝倉

第4回 江戸川総合人生大学祭

2009年8月8日(土)10時～16時
於：タワーホール船堀

多数のみなさんのおいでをお待ちしています。



第3回大学祭 ステージ フラダンス

旬なひとたち

江戸川区唯一の美術館・関口美術館。その館長は建築家である関口雄三さん。多くの彫刻が展示され、住宅街の一角がアートな空間になっています。関口館長にお話を伺いました。



「美術館設立へのきっかけは何ですか？」

まず、1つ目は柳原義達先生（※）との出会いですね。独立をして、色々と取りあげられながらも孤独な部分がある中、「鴉」と出会いました。世間に叩かれても頭をあげなくてはならない自分の姿のようなものや、風に向かって一生懸命胸を張って頑張っている姿に共鳴し、随分励されました。それを作った先生にお会いし、一点一点集めているうちに、先生の作品は私が一番所有しているのでこれは人様にお見せし、地域コミュニティの活性になればいいなと思いました。

2つ目は、次の世代のアーティストたちを支援していくうと思ったのです。自分の建築作品の中にアーティスト作品を入れながら支援し、育てながら、ともにモノを作っていくうと考えました。区の「希望の家」に

まず陶芸家の作品を入れたのが始めですが、その時に自分の作品とアーティストの作品が一緒になるとより力強く表現でき、豊かになるということを確信しましたね。

3つ目は、ニースの美術館に行ったときに、こういう美術館を作れたらと思える美術館がありました。ゆっくり時間をかけて作品を観ると、作家の気持ちや魂の部分が見えてきますね。作者と同じ世界に入っていきながら、作品を理解できる嬉しさがこみあができます。そういう見方をニースの美術館はさせてくれました。そんな美術館がほしいなと思いました

「区民の皆さんに一言お願いします」

「お子さんたちにまさに“道標”などの作品を小さい頃から、観てもらいたいです。次世代が日本や故郷を守るわけです。自分でこの国や故郷、家族を守るんだという子供たちの気合は、自然の中とか芸術作品の魂の奥を見てはじめて力になると思います。ぜひ、お子さんと一緒に観に来てください」



柳原義達作・「道標（風と鴉）」 1966年、ブロンズ

※）柳原義達（1910年～2004年）彫刻家。

1996年文化功労者。ブロンズ像で知られる。

写真提供：関口美術館

関口美術館

住所：江戸川区中葛西 6-7-12 電話：03-3869-1992

<http://www.sekiguchi-sekkei.co.jp/museum/>

（取材：国際コミュニティ学科 秋元&杉山）

同窓会の窓

3月28日に開催された「東アジア長寿社会国際シンポジウム」では、卒業生の8団体が地域社会の中でいきいきと活躍する様子をパネル展示し、どのブースも各国から集まった専門家が熱心に見学され大盛況でした。とりわけ、江戸川区の自然と関わるボランティア活動に興味をもたれたようでした。高齢社会の進む東アジア諸国の中で、身近な環境や街づくりなどに取り組む私たちの日頃の活動が、高い評価を受けたことは大変有意義で、鼓舞されました。これを機に、活動の継続と共育・協働の輪を広げ、更に未来に希望のもてる共鳴者の育成も急務と痛感しました。

★イベント・サークル情報★区民の皆様のご参加をお待ちしております

催し	日時	会場	費用	主催・お問い合わせ・内容
朗読会	7月26日(日) 2時～	なぎさニュータウン 管理棟ホール	無料	櫻の会 千田節子 TEL 090-2238-1815 ワインとチーズのサービスあり
葛西の寄り合い所 杜の会	毎月第1・第3水曜日 13時～15時	西葛西5-7-8 第二ドミール森田 404号	200円 材料費別	石井 TEL 080-1049-3310
「江戸川総合人生大学」学生、卒業生による 第15・16回 朗読会	5月23日(土) 10時30分～11時40分 7月18日(土) //	タワーホール船堀3階 応接会議室	無料	堀川 TEL 03-3679-4357



江戸川総合人生大学では
4月より毎月1回公開講座を
実施しております。
お1人でも、又お友達を
お誘いの上、是非ご参加ください。

5月の公開講座

講座名 「だれでも・いつでも・このゆびとーまれ」
講師 惣万 佳代子（このゆびとーまれ 代表）
日時 5月26日(火) 14時～16時
場所 篠崎文化プラザ講義室
定員 70名
申込方法 5月11日より電話にて（先着順）

電話：江戸川総合人生大学事務局 03-3676-9075

6月の公開講座

講座名 「野草“感” 察会」
講師 重松 浩（みすとみどりの寺子屋 代表）
日時 6月2日(土) 10:30～13:30
場所 篠崎ピオトーフほか
定員 50名
申込方法 5月20日より電話にて（先着順）

「ひと あい えどがわ」編集委員

【4期生】熊谷吉光、寺久保好子（江）秋元直美、木村裕子（国）住谷信夫、矢放幸子（子）勝倉洋子、

川端慶子（介）

【5期生】笹原喜代司、相本直樹（江）杉山力、細谷久子（国）小杉裕子（子）、木元和子、宮道益江（介）

編集記事に関するお問い合わせは、大学事務局まで 電話：03-3676-9075

編集後記

木々の緑も鮮やかな初夏の候に第10号情報紙をお届けいたします。
新スタッフにより、「親しみやすく読みやすい情報紙」をという願いを込めて…
如何でしたでしょうか?ご意見、ご感想や素敵なお情報をお待ちしております。

編集長：勝倉洋子